

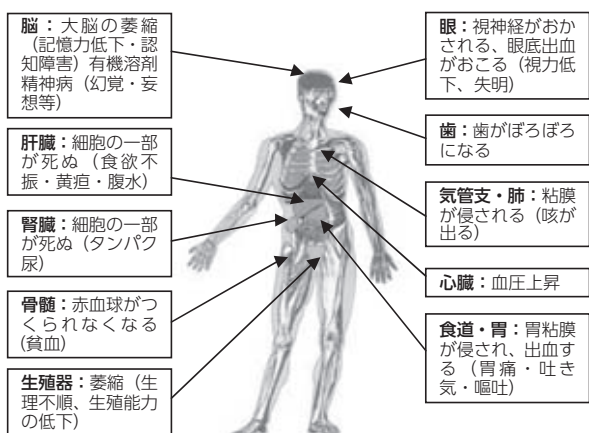
『ダメ。ゼツタイ。』薬物乱用

著名人の薬物使用の発覚は、記憶にも新しいと思います。6月20日〜7月19日は「ダメ。ゼツタイ。」普及運動啓発期間です。

人間の脳は千数百億個の神経細胞で作られる回路があります。薬物は脳の回路を破壊します。「一回だけなら大丈夫」と思っても、薬物は脳の報酬系と呼ばれる神経に影響を与えます。脳内報酬系は神経伝達物質であるドーパミン（よるこび、快感、動機付け、運動機能に関係する）を分泌し、薬物により強制的にドーパミンが分泌されるようになります。ねずみの実験では、「ねずみの脳内報酬系に電極を刺し込み、レバーを押すと電流からドーパミン（快感）が流れるしくみを作ると、ねずみは一心不乱にレバーを押すようになる」とあります。

このように脳は一度覚えてしまった感覚を忘れることはできません。脳の回路は元に戻せない変化が生じ、さらには、薬物が切れることによって起こる苦痛から逃れるために乱用を繰り返し、やめたくてもやめられない「依存」状態に陥ります。

下の図は、薬物が体に及ぼす障害です。



脳は20歳頃まで成長するといわれており、特に小学生、中学生、高校生の時期は心身共に急速に発達するときです。この時期に乱用すると、脳や身体の成長がストップし、感情のコントロールができず、家族や友達とのコミュニケーションもできなくなってしまうかもしれません。そして、どうしても乱用を続けられるのが第一の関心事になり、騙したり、暴力を振るったり、家族や友達を傷つけてしまうことになり得ます。

薬物によって破壊された脳の回路や人生は元には戻りません。

学校コーナー

考え・進め 未来へ!



平成28年度がスタートして二ヶ月が経ちました。今年度は、生徒218名で、学習や部活動等に精一杯取り組んでいます。五霞中の中心として活躍している生徒会役員、五霞中に対する「思いや願い」をご紹介します。

◇生徒会が目指す五霞中

私は、今年の五霞中を生徒全員が楽しいと思える学校にしたいと考えています。そのために、みんなの意見に基づいた学校づくりを進めて行きたいです。そして、今まで先輩方が受け継いできた伝統に加え、私達でまた新しい五霞中を築いていきたいと思っています。



(会長 宮崎可純)

◇黙働

私達五霞中生は、清掃に力を入れています。「床を磨いて心磨こう」を合言葉に、校舎を磨くとともに、自分の心も磨きます。五霞

中が築きあげてきた素晴らしい伝統。それを傳承していくべく、今日も私達は清掃をがんばります。

(副会長 染谷若那・藤城陸)

◇家庭学習への取組「かすみ賞」



私達五霞中生は、学力向上のため毎日2ページ以上家庭学習に取り組んでいます。一年間でノート10冊

を達成すると、「かすみ賞」として、賞状とノート五冊がもらえます。昨年度は、212人が達成できました。本年度も、全生徒「かすみ賞」達成を目指して、日々家庭学習に励んでいます。

(書記 小森瑞生・鳩貝琉斗)

◇五霞中体育祭

私達五霞中生は、体育祭に向けて、朝練や放課後練習を短い期間の中で全力で取り組みました。時に意見が食い違うこともありましたが、お互いのことを認め合うことで、クラスの絆が深まりました。どのクラスも練習

に一生懸命に取り組み、団結が一層深まりました。

(会計 知久優太・鈴木珠璃)

